

令和元年度 特別の教育課程の実施状況等について

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

- ・第3、4学年において年間35時間、第5、6学年において年間50時間の「英語科」を実施する。
- ・第3学年～第6学年においては、新学習指導要領への移行措置に基づき、「総合的な学習の時間」15時間を削減する。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は、平成16年12月8日に構造改革特別区域研究開発学校設置事業の認定を受け、第3学年以上において「英語科」の授業を実施してきた。その結果本市においては、児童、教員、及び保護者の中に、「英語科」に実施について、積極的な土壌が形成されていると考える。

本市の小・中学校には多くの外国籍児童生徒が在籍しており、学校教育の施策の1つとして、「グローバル社会に生きる人材の育成」を掲げている。多文化共生社会を構築していくためには、児童・生徒に確かなコミュニケーション能力を身に付けさせていくことが課題である。

以上のことから小学校における「英語科」の取組を今後も継続・発展させていくことは、本市の学校教育や英語教育の特色及び、地域の特徴を生かした教育活動を展開することであるととも、将来、本市の発展を担う人材育成にとって極めて重要であると考えている。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

本市20校において、特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育が計画通り実施されている。20校を対象とした調査では、A B C Dの4段階評価において、小学校英語教育に係る「コミュニケーションへの積極的な態度の育成」について、A又はBと回答した学校が94%であった。また、同様に「聞くこと・話すことの能力の評価」が100%、「言語や文化についての体験的な理解」も100%と、肯定的な回答が極めて高く、本市の学校教育や英語教育の特色及び、地域の特徴を生かした教育活動となっているといえる。

これらの結果から、本市では、小学校英語教育を通して、各校の教育目標並びに、学校教育法における小学校教育の目標の一「学校内外の社会生活の経験に基き、人間相互の関係について、正しい理解と協同、自主及び自律の精神を養うこと」及び、二「郷土及び国家の現状と伝統について、正しい理解に導き、進んで国際協調の精神を養うこと」の達成に向かっていると考えられる。

令和元年度 特別の教育課程の実施状況等について

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

- ・第3、4学年において年間35時間、第5、6学年において年間70時間の「英語科」を実施する。
- ・第3学年～第6学年においては、新学習指導要領への移行措置に基づき、「総合的な学習の時間」15時間を削減する。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は、平成16年12月8日に構造改革特別区域研究開発学校設置事業の認定を受け、第3学年以上において「英語科」の授業を実施してきた。その結果本市においては、児童、教員及び、保護者の中に、「英語科」に実施について、積極的な土壌が形成されていると考える。

本市の小・中学校には多くの外国籍児童生徒が在籍しており、学校教育の施策の1つとして、「グローバル社会に生きる人材の育成」を掲げている。多文化共生社会を構築していくためには、児童生徒に確かなコミュニケーション能力を身に付けさせていくことが課題である。

中川小学校、小野小学校については、平成26年度から平成29年度の4年間、文部科学省より「英語教育強化地域拠点事業」の指定を受け、短時間学習（モジュール学習）の先行実施や、小・中の系統的な連携の在り方についての研究実践を通して、市のみならず岐阜県の英語教育をリードする取組を行ってきた。

以上のことから、中川小学校、小野小学校の2校において、「英語科」の取組を今後も継続・発展させていくことは、本市の学校教育や英語教育の特色及び、地域の特徴を生かした教育活動を展開することであるとともに、将来、本市の発展を担う人材育成にとって極めて重要であると考えている。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

上記2校において、特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育が計画通り実施されている。上記2校を対象とした調査では、A B C Dの4段階評価において、小学校英語教育に係る「コミュニケーションへの積極的な態度の育成」、「聞くこと・話すことの能力の評価」、「言語や文化についての体験的な理解」といった項目がほぼAであり、本市の学校教育や英語教育の特色及び、地域の特徴を生かした教育活動をリードしているといえる。

これらの結果から、本市では、小学校英語教育を通して、各校の教育目標並びに、学校教育法における小学校教育の目標の一「学校内外の社会生活の経験に基き、人間相互の関係について、正しい理解と協同、自主及び自律の精神を養うこと」及び、二「郷土及び国家の現状と伝統について、正しい理解に導き、進んで国際協調の精神を養うこと」の達成に向かっていると考えられる。